

歴史街道を歩く 美濃路

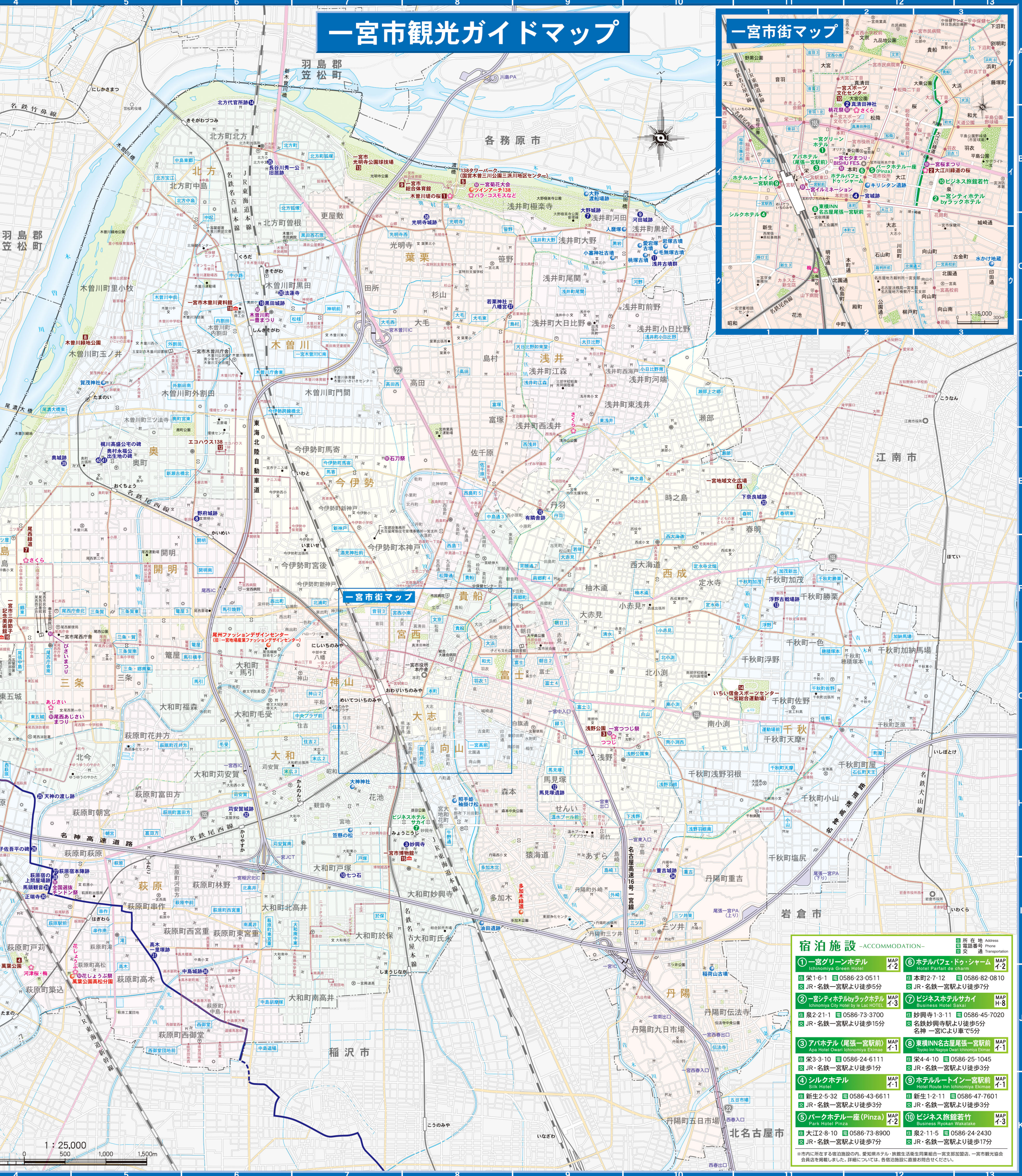
美濃路は中山道の鹿井宿と東海道の宮(熱田)宿を結び、大垣・豊後・萩・秋原・福家・清須・名古屋の7宿がありました。中山道と東海道などの五街道に付する街道として、五街道と同じく幕府の道中奉行の支配下に置かれた。將軍や大名、朝鮮通信使や琉球使節などの大通行や、家、お茶屋などの特殊な通行にも美濃路が利用されました。東海道の難所である鈴鹿峠と、桑名と宮の間の高上七郎の渡しを迂回することでも知られていたとされています。美濃路の一部で中世の鎌倉街道に重なる区間があり、尾張では天正のころ織田信雄が中島郡井口(稲沢市井之口)から河室(一宮市萩原宿車作)に至る幅5(約9m)の幹線道路をつくらせたのが原型となっていると考えられます。中山道や東海道と同様に、江戸時代の初期からおよそ400年の歴史がある魅力の多い街道です。

- 21 人柱観音** MAP-F-3
慶長(1596~1615年)のころ、木曾川の支流、小信川の築造の難工事に人柱として流し身を投じたと伝えられる三と、高木一塚の築造工事で亡くなった3名をまつる人柱観音が昭和32年(1957年)に開眼しました。
- 22 宮戸河跡** MAP-F-3
大明神社の前から対岸の新井村(現・羽島市)の瀬川河戸への渡し口で、起原の商家が舟物を運ぶ船が發着する姿でした。
- 22 起の大イチョウ** MAP-F-3
樹高30mほどのいちじょうの巨木、昭和38年(1963年)愛知県指定天然記念物。
- 22 起のヤマガキ** MAP-F-3
野生の柿の大木で、平野部で生育している例は極めて珍しい。昭和42年(1967年)愛知指定天然記念物。
- 29 馬頭観音** MAP-I-4
宝暦13年(1763年)に萩原の馬持ち12名が発起人になって建立されました。
- 30 正瑞寺** MAP-I-4
正瑞寺がある曲がり角には高札場が設置されていました。
- 31 高木一塚跡** MAP-I-5
明治初年まで道の両側に塚があり獲も残っていたとすが、いつの間にかなりに消えていたといわれています。東側に昭和37年(1962年)「一里塚跡」の石碑が建てられました。

- ### 美濃路散策コース
- 16 起渡船場跡(定渡船場跡)
 - 21 人柱観音
 - 16 旧木屋主屋
 - 22 宮戸河跡、起の大イチョウ・ヤマガキ
 - 23 披本陣跡
 - 1 起宿原本陣跡・旧林家住宅
 - 17 一宮市尾西歴史民俗資料館
 - 24 駒塚道標
 - 17 富田一里塚
 - 25 天神の渡し跡
 - 26 孝子佐吉平の碑
 - 27 萩原宿本陣跡
 - 28 萩原宿の上間屋跡
 - 29 馬頭観音
 - 30 正瑞寺
 - 31 高木一塚跡

凡例

県界	市界	区界	町界	村界	主要道路	バス路線	美濃路
史跡・開通	施設・名所	遺跡・名所	寺・社	公園	公園	公園	公園
大学・高校	小・中学校	郵便局	図書館	公民館	銀行	銀行	銀行
警察署	警察署	警察署	警察署	警察署	警察署	警察署	警察署
神社	神社	神社	神社	神社	神社	神社	神社
主要交差点							



郷土の武將紹介

尾張 高盛 (Takamori Kajikawa)
1541(天文10)~1624(寛永0)
父が、奥村(現在の奥町)に住んだとされ、永福も奥村で生まれたといわれています。
天正12年(1584年)、越中の佐々成政が、前田利家治める加賀・能登へ侵襲し、守將奥村永福が能登末森城を攻め立てました。龍城軍は頑強に抵抗し、ついには利家本軍の援を得て、城を死守しました。越前前田の援を得て、城を死守しました。
長谷川一秀は織田信長の側近で北方で生まれたとされます。現在、旧居跡の石碑は北方中学校の校門付近にありますが、元々は北方町の東邊にありました。信長の死後、秀一は奥村に退き、越前前田の援を得て、城を死守しました。越前前田の援を得て、城を死守しました。

奥村 永福 (Nagamura Okumura)
1541(天文10)~1624(寛永0)
父が、奥村(現在の奥町)に住んだとされ、永福も奥村で生まれたといわれています。
天正12年(1584年)、越中の佐々成政が、前田利家治める加賀・能登へ侵襲し、守將奥村永福が能登末森城を攻め立てました。龍城軍は頑強に抵抗し、ついには利家本軍の援を得て、城を死守しました。越前前田の援を得て、城を死守しました。

長谷川 一秀 (Hasegawa Kazumasa)
1547(天文16)~1611(慶長16)
春日井郡北野村(現在の豊田北名古屋市)の安井氏に生まれました。
織田信長の召喚を受けていた叔父・浅野長勝に男子がなかったため、長勝の娘や(弥の)婿長とて浅野家に迎えられ、家督を継ぎました。秀吉と相打ちに死なね(将)も長勝の養女であったため、秀吉は相打ちにあたり、信長に仕えたのは秀吉の家来となり、五右衛門を合戦したといわれています。

浅野 長政 (Asano Nagamasa)
1542(天文11)~1627(寛永4)
一宮市(現・若菜神社八幡宮)に生まれました。
天正11年(1542年)、島村に生まれた松正吉は、織田信長に仕え、桶狭間の初陣以来、幾多の戦に加わり武功を挙げました。社臣として豊長(1605年)豊長が武運長久祈願のため、若菜神社八幡宮を合戦(ごうし)したといわれています。

若菜神社八幡宮 (Wakana Shrine)
天正11年(1542年)、島村に生まれた松正吉は、織田信長に仕え、桶狭間の初陣以来、幾多の戦に加わり武功を挙げました。社臣として豊長(1605年)豊長が武運長久祈願のため、若菜神社八幡宮を合戦(ごうし)したといわれています。

光明寺城跡 (Kōmyōji Castle Site)
織田信長の家臣、神戸伯耆守(はつさかのみかみ)が築城した。後に信長が馬廻衆の山田半兵衛が在城しました。伯耆守は、永禄12年(1569年)伊勢國北畠義興父子の大河内城を攻めた夜襲で討死しています。石碑は光明寺境内から北へ約150mの位置に移されています。

奥城跡 (Okunaka Castle Site)
織田信長・信雄に仕えた槻川高盛の居城です。小牧長久手合戦では、信長の弟中根信康を迎え入れ奥城に籠もるが、羽柴(後の豊臣)秀吉の大軍を前に城を開きました。秀吉は、城将が主家筋の人物であることから助命し、城兵全員の退城を許したものと推定されます。見学の際は、関係者に了承を得てください。

龍川高盛公宅の碑 (Ryūen Takakage's Residence Monument)
槻川高盛は、高秀の子で、父とともに奥村(現在の奥町)へ移るといわれます。天正元年(1573年)、高盛は織田信長に従い、足利義昭が籠もる境島城(京都宇治市)を攻めにかりました。その際、宇治川で先陣を果した。信長から馬を下賜(かし)されたといわれています。

長谷川一秀公邸跡 (Hasegawa Kazumasa's Residence Site)
天正12年(1584年)、越中の佐々成政が、前田利家治める加賀・能登へ侵襲し、守將奥村永福が能登末森城を攻め立てました。龍城軍は頑強に抵抗し、ついには利家本軍の援を得て、城を死守しました。越前前田の援を得て、城を死守しました。

宿泊施設 - ACCOMMODATION -

1 一宮グリーンホテル (Ichiomiya Green Hotel) 〒463-23-0511 JR・名鉄一宮駅より徒歩5分	2 一宮シティホテルラックホテル (Ichiomiya City Hotel by LaC HOTEL) 〒0586-73-3700 JR・名鉄一宮駅より徒歩15分	3 アパホテル(尾張一宮駅前) (Apa Hotel Owari Ichiomiya Ekimae) 〒0586-24-6111 JR・名鉄一宮駅より徒歩1分	4 シルクホテル (Silk Hotel) 〒0586-43-6611 JR・名鉄一宮駅より徒歩3分	5 パークホテル(ピナ) (Park Hotel Pinza) 〒0586-73-8900 JR・名鉄一宮駅より徒歩7分	6 ホテルパレード・ジャム (Hotel Parade of Charm) 〒0586-82-0810 本町2-17-12 JR・名鉄一宮駅より徒歩7分	7 ビジネスホテルサカイ (Business Hotel Sakai) 〒0586-45-7020 妙興寺1-3-11 名鉄妙興寺駅より徒歩5分	8 名鉄妙興寺駅より徒歩5分 名鉄一宮駅より徒歩5分	9 ホテルルートイン一宮駅前 (Hotel Route Inn Ichiomiya Ekimae) 〒0586-25-1045 本町2-17-12 JR・名鉄一宮駅より徒歩3分	10 ホテル一宮 (Hotel Ichimiya) 〒0586-47-7601 新生1-2-11 JR・名鉄一宮駅より徒歩3分	11 東横INN名古屋尾張一宮駅前 (Toyoko Inn Nagoya Owari Ichiomiya Ekimae) 〒0586-25-1045 本町2-17-12 JR・名鉄一宮駅より徒歩3分	12 新生1-2-11 (Shinsei 1-2-11) 〒0586-47-7601 新生1-2-11 JR・名鉄一宮駅より徒歩3分	13 ビジネス旅館若竹 (Business Ryokan Wakatake) 〒0586-24-2430 大工2-8-10 JR・名鉄一宮駅より徒歩17分	14 名鉄妙興寺駅より徒歩5分 名鉄一宮駅より徒歩5分
---	--	---	--	--	---	---	----------------------------	---	--	--	---	--	-----------------------------

この図版は製作に当たっては、関係機関の協力を得て、撮影許可(1)及び1:25,000の縮尺で図版を作成した。編集者 平均 2022年12月